

令和7年度
国土交通省
一般職（大卒程度）

内定者 GUIDEBOOK



日本の未来を切り拓く。それは言葉で言うほど容易ではない。

霞が関から現場まで職員一人ひとりがつながり、

国の将来ビジョンを共有しながら

チーム力で政策課題に立ち向かおう。

安心安全な国土や人と人の結びつきという社会基盤を築き上げ、

次世代に譲り渡すこと。

ダイナミックなインフラによって歴史を紡いでいくこと。

革新的アイデアで社会をより良くする政策を描き、

形にしていくこと。

それこそが、我々の使命である。



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

= 目 次 =

1

概要説明

組織概要 P 3

採用活動と人事異動について P 4

内定者基本情報紹介 P 5

2

国家公務員採用試験対策

3

官庁訪問対策

4

その他お役立ち情報満載



組織概要

○国土交通省とは

・国土の総合的かつ体系的な利用、開発および保全、そのための社会資本の総合的な整備、交通政策の推進、観光立国の実現に向けた施策の推進、気象業務の発展、海上の安全および治安の確保などを担う官庁

・2001年（平成13年）1月6日に、旧4省庁（北海道開発庁、国土庁、運輸省及び建設省）を母体として設置

○使命

「国民の命と暮らしを守る」

○国土交通行政の5つの目標

1. 自立した個人の生き生きとした暮らしの実現
2. 競争力のある経済社会の維持・発展
3. 安全の確保
4. 美しく良好な環境の保全と創造
5. 多様性のある地域の形成

国土交通省

(施設等機関)

- 国土交通政策研究所
- 国土技術政策総合研究所
- 国土交通大学校
- 航空保安大学校

(特別の機関)

- 国土地理院
- 小笠原総合事務所
- 自転車活用推進本部
- 海難審判所

(地方支分部局)

- 地方整備局
- 北海道開発局
- 地方運輸局
- 地方航空局
- 航空交通管制部

(外局)

- 観光庁
- 気象庁
- 運輸安全委員会
- 海上保安庁

国土交通本省





採用活動と人事異動について

概要説明

試験対策

官庁訪問

その他

- 国土交通省本省では、採用活動と人事異動は【社会資本整備系】と【モビリティ・観光立国系】の2つの系統に分けて行っています。
- 皆様には官庁訪問の予約時にどちらかの系統を選択していただきます。
※入省後に系統を変更することはできません。

[1] 大臣官房

法令、人事、予算などの調整役や、国土交通省全般の業務運営などの中心的な役割を担います。

[2] 総合政策局

国土交通省の総合的かつ基本的な方針の策定や、各局横断的な施策のとりまとめを担います。

共通

[3] 国土政策局

国土の利用、開発及び保全の推進を担います。

[4] 不動産・建設経済局

土地政策の推進、建設業や不動産業の育成・振興を担います。

[5] 都市局

都市の再生、多様性のある個性的なまちづくりや地域づくりの推進を担います。

社会資本整備系

[6] 水管理・国土保全局

災害の防止、防災対策、河川・ダム・海岸等の維持管理、水資源、下水道、砂防等の施策の推進を担います。

[7] 道路局

幹線道路網の構築、IT社会の基盤形成、都市の新生・再構築、交通連携の推進を担います。

[8] 住宅局

国民の住生活および建築物の質の向上、安全で快適な生活環境の確保を担います。

[9] 鉄道局

鉄道の高速度化、都市鉄道の整備、利用者利便の向上・移動制約者の利用円滑化の推進を担います。

[10] 物流・自動車局

安全と利便性の高い交通システム、自動車の環境及び安全対策の推進を担います。

モビリティ・観光立国系

[11] 海事局

外航海運の強化、内航海運の活性化、造船業・船用工業の発展、船員労働行政全般を担います。

[12] 港湾局

港湾物流ネットワーク構築の推進、生活を支える港湾、ウォーターフロントの創造を担います。

[13] 航空局

空港の整備、航空交通の安全確保および利用者利便の向上と航空運送事業の発展を担います。

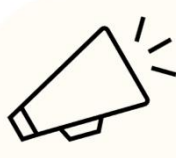
[外局] 観光庁

「住んでよし、訪れてよしの国づくり」に取り組み、観光立国の実現を目指す役割を担います。

[14] 北海道局 [15] 政策統括官 [16] 国際統括官

【※】モビリティ・観光立国系の港湾局と航空局について、本省採用からの配属はありません。配属を希望される方は各地方整備局、各地方航空局で採用面接を受けていただく必要があります。

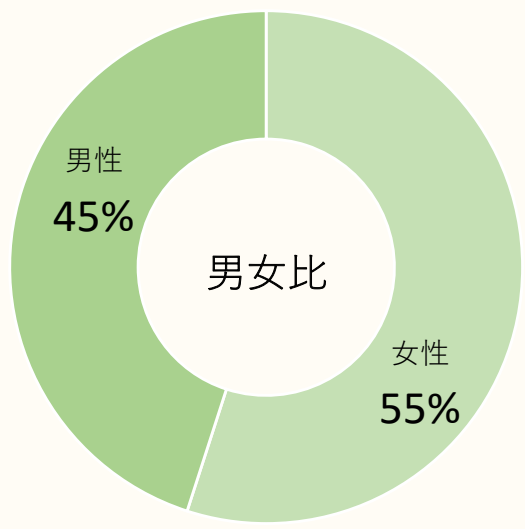
採用と人事異動



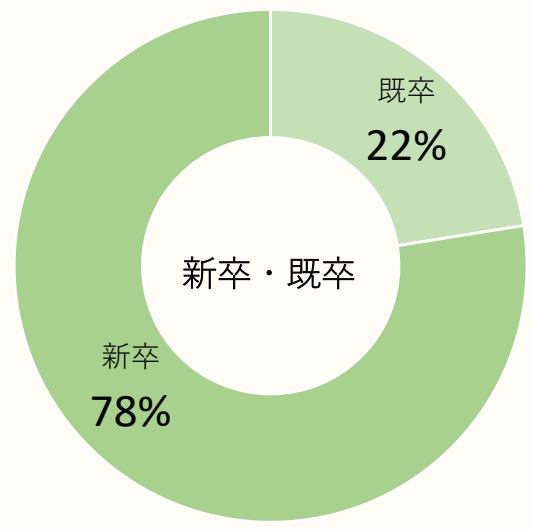
データで見る内定者の情報を公開します！！



男女の割合は？

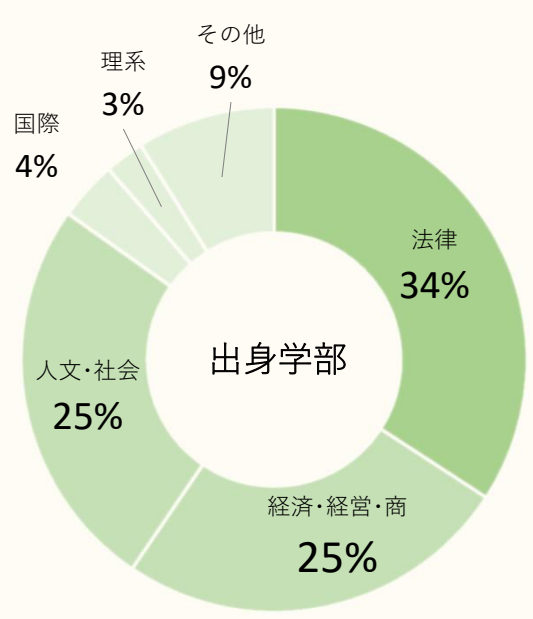


新卒・既卒の割合は？



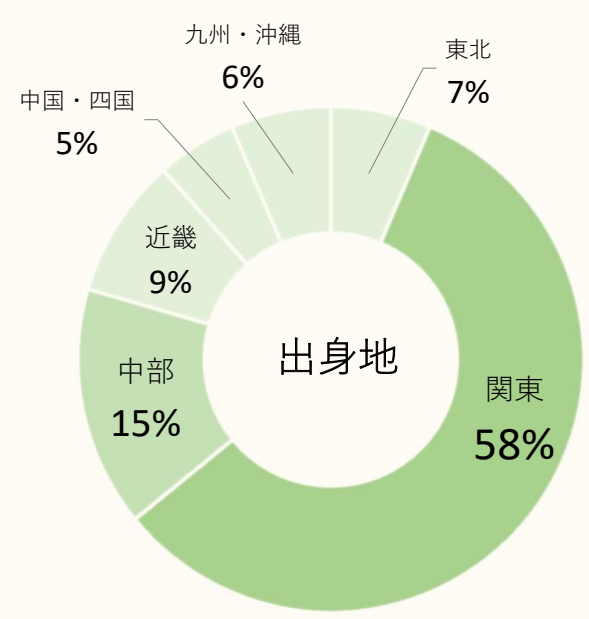
性別や新卒・既卒問わず、採用しています！

出身学部は？



国公立・私立問いません。志を高く持った学生の皆さん、大歓迎です！

出身地は？



関東圏在住の学生ばかりではありません！全国各地の学生が内定を勝ち取っています！

1

概要説明

2

国家公務員採用試験対策

勉強方法・最も力を入れた試験・・・・・・・・P 7

試験対策の開始時期・・・・・・・・P 8

試験対策の方法・・・・・・・・P 9～16

試験対策で苦勞・工夫したこと・・・・・・・・P 17

試験を振り返っての反省点・・・・・・・・P 18

3

官庁訪問対策

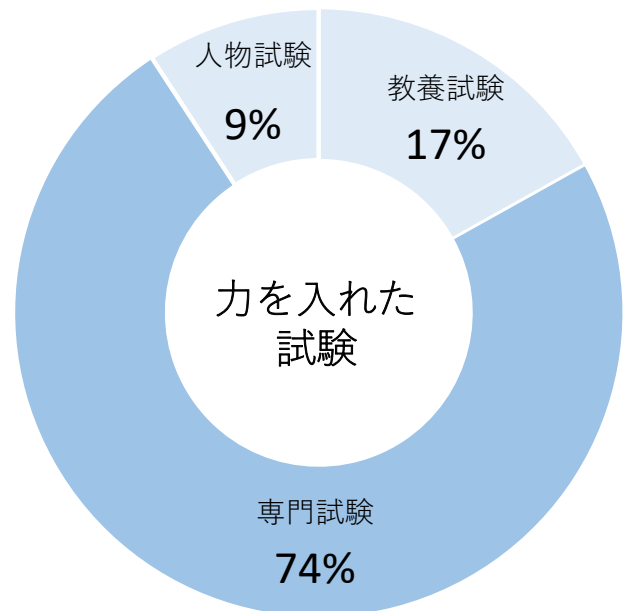
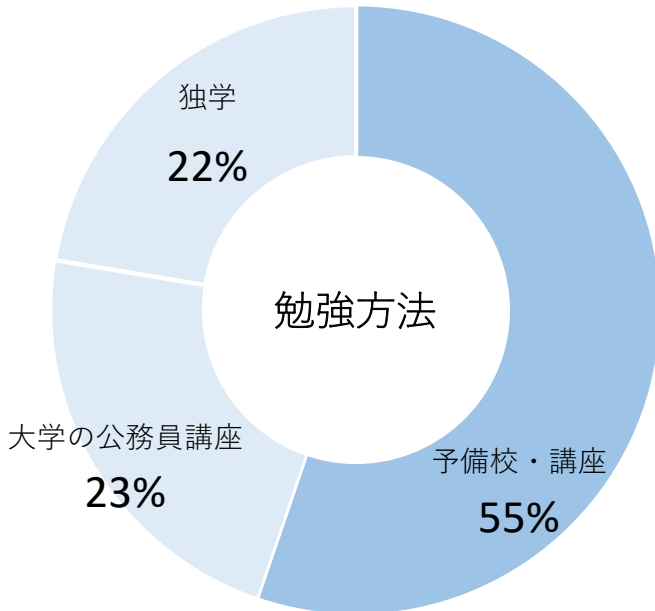
4

その他お役立ち情報満載

国家公務員採用試験対策

Q 1

公務員試験対策のための勉強方法を教えてください。
また、対策に最も力を入れた試験は何ですか？



専門試験派

- ・試験の中でも専門試験の配点比率が高いため。
 - ・法律系科目や経済系科目は大学で学んでいなかったため。
 - ・出題範囲がとても幅広く、覚えることが多いため。
 - ・科目数が多い上に、法律系科目は併願先の試験でも使用するため。
 - ・暗記のみで得点源となる科目もあるため。
- など

教養試験派

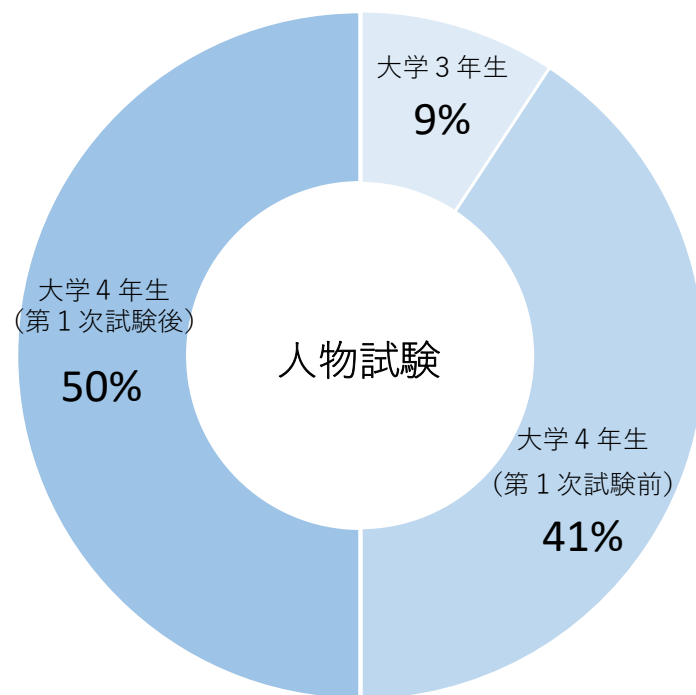
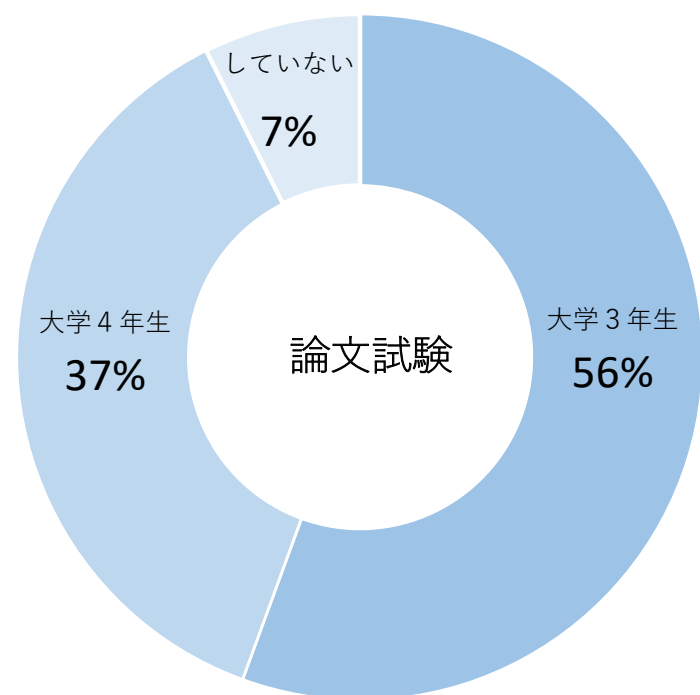
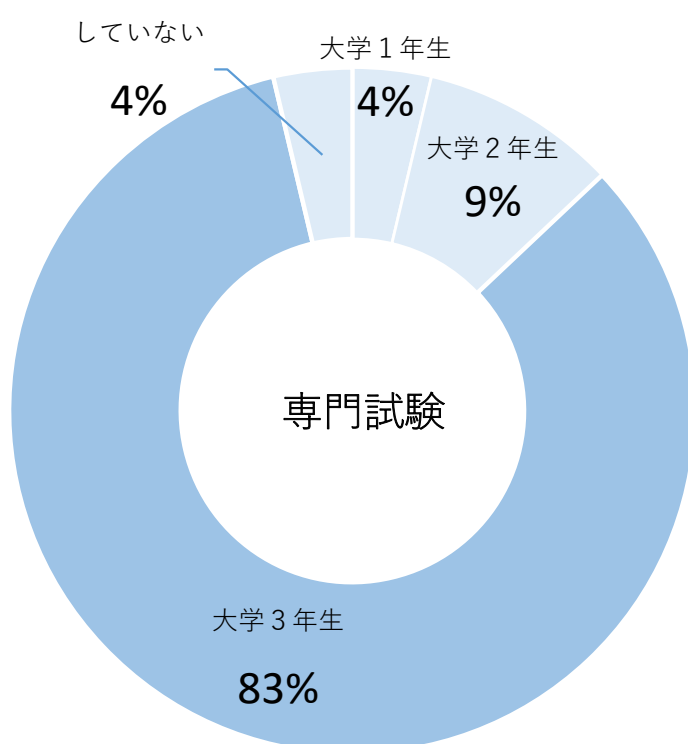
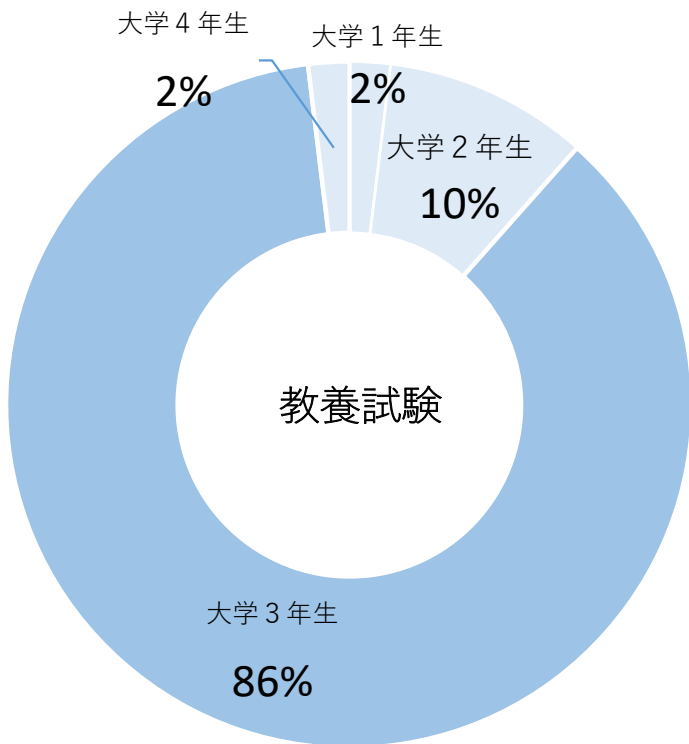
- ・出題数の多い数的処理が苦手だったため。
- ・出題数の多い時事対策に力を入れ、得点源にしたかったため。
- ・数学や英語のブランクがあったため。 など

人物試験派

- ・面接に苦手意識があったため。
 - ・民間就活の面接で苦戦したため。
 - ・前職の経験について簡潔にまとめられるよう時間をかけたかったため。
- など

Q 2

試験対策の開始時期を教えてください。



Q 3

試験の対策方法を教えてください。

① Aさんの場合 経済経営学部・独学・行政区分

スケジュール

大学3年生の7月

- ・教養試験の対策を開始

大学3年生の9月

- ・専門試験の対策を開始
- ・過去問が収録されたテキストを購入
- ・法律系科目は毎日、経済系科目は2日おき

大学4年生の4月

- ・論文試験の対策を開始
- ・1～2週間に1本、キャリアセンターにて添削
- ・ニュースを見て、それに対する自分の考えをノートに書き出す

大学4年生の6月

- ・人物試験の対策を開始
- ・オンラインでの面接練習も活用
- ・AIに面接官役を頼んで質問を投げかけてもらい、それに回答する練習
- ・説明会に参加をし、並行して官庁訪問対策

試験当日

- ・筆記試験は思っていたより落ち着いて取り組むことができた。
- ・解ける問題と飛ばす問題の取捨選択がうまくいったことで全ての問題に触れることができ、今まで一番良い点を取ることができた。
- ・人物試験は、順番待ちでハプニングがあったが、面接官の方が笑顔で話を聞いてくれたので、落ち着いて話すことができた。

試験を振り返っての反省

- ・専門試験の法律科目の学習に力を入れる時期が遅くなってしまった。
- ・インターネットやキャリア相談の言葉を過信しすぎて、年内まで自分に合う勉強法で学習に取り組めなかったこと。
- ・もっと早い段階で、自分に合う勉強法に修正するべきだった。

Q 3

試験の対策方法を教えてください。

② Nさんの場合 法学部・行政区分

スケジュール

大学3年生の5月

- ・教養試験、専門試験の対策を開始
- ・数的処理は過去問と模試の演習が中心

大学3年生の9月

【教養試験】

- ・文章理解は慣れるために毎日2, 3問演習
- ・時事問題はお風呂で参考書を音読

【専門試験】

- ・移動時間や家事をする際にオンデマンド授業を聞き、問題演習

大学4年生の6月

- ・人物試験の対策を開始
- ・自分の強みを発揮できたエピソードをノートに書き出した

大学3年生の2月

- ・論文試験の対策を開始
- ・添削されたものを復習して勉強

試験当日

- ・数的処理に十分な時間を残せなかったが、文章理解と時事の得点でカバーできた。
- ・数的処理は先に3をマークしてから最後に解くと決めていたが、作戦が成功して4点のラッキー加点があった。
- ・専門試験は、初めに解いた英語（一般）に時間を使いすぎてとても焦った。
- ・本番でいきなり解く順番を変えたことが大失敗だった。
- ・論文試験は、タイムマネジメントがうまくできず、バランスの悪い論文になってしまった。（前半部分はしっかり書いてあるのに、後半部分の内容が薄くなる。）

試験を振り返っての反省

- ・目標を第一次試験に定めてしまったこと。
終わった瞬間に燃え尽きてしまい、やる気が途切れてしまった。
- ・内々定が出る日を目標として設定し、その日を意識して勉強をするべきだと感じた。

Q 3

試験の対策方法を教えてください。

③ Kさんの場合 言語文化学部・行政区分

スケジュール

大学3年生の4月

- ・教養試験、専門試験の対策を開始

【教養試験】

- ・文章理解は得意だったので過去問演習のみ
- ・数的処理は苦手だったので時間を計りながら演習

【専門試験】

- ・なるべく多くの科目を用意
(憲法、民法、行政法、ミクロ、マクロ、財政学、政治学、行政学、社会学)

大学3年生の7月

- ・論文試験の対策を開始
- ・予備校のオプション講座を受講し、予想問題を解いて添削してもらった
- ・論文を書く際には、条件や資料の見落としがけないかに注意

大学4年生の6月

- ・人物試験の対策を開始
- ・予備校の先生や友人に面接官役をお願いした
- ・自分の話し方や態度を客観的に見るために動画を撮影

試験当日

- ・隣の席の人のページをめくる音が気になったが、自分のペースで落ち着いて解いた。
- ・専門試験では、経済科目は一つも取らず、法律科目3つ、学系科目3つ、英語科目2つを選択した。
- ・英語は長文の問題が多いが、試験時間も長いので、英語が苦手ではない人は選択肢に入れておくと良い。
- ・論文は国土交通省関連のテーマだったので、書き進めることができた。

試験を振り返っての反省

- ・サークルやアルバイトと両立をしながら試験勉強ができたのではないかと後悔している。
- ・無事合格できたからこそ言えることだが、1年半も勉強ばかりに時間を費やしてしまい、もったいないと感じている。

Q 3

試験の対策方法を教えてください。

④ Kさん（既卒）の場合 地域政策学部・行政区分

スケジュール

試験7ヶ月前

- ・教養試験、専門試験の対策を開始

【教養試験】

- ・数的処理は苦手だったので毎日1時間30分勉強
最終的にテキストは5周した

【専門試験】

- ・全ての科目が初見だったので、オンライン講座の動画を何度も見て理解を深め、その後すぐに過去問演習

試験5ヶ月前

- ・論文試験の対策を開始
- ・頻出テーマに絞って、各テーマの基礎知識や最近のニュースを自分なりにまとめた
- ・書いた論文は添削してもらったこともあった

試験1ヶ月前

- ・人物試験の対策を開始
- ・想定問答を作成し、オンラインで模擬面接をしてもらった

既卒ならではの苦労した点、工夫した点

- ・国家公務員試験の受験を決断した時は、海外でワーキングホリデーをしており、次の国へ行くのか、就職するのかを考えていた。
- ・年末までは海外におり、アルバイトにも時間を割いていたので、1日3～4時間しか勉強できなかった。
- ・時間の使い方を工夫し、集中力の高まる午前中に勉強をし、夕方から夜にかけてアルバイトを行っていた。

試験を振り返っての反省

- ・全体的にもう少し早い時期から対策を始めていれば余裕があった。
- ・筆記試験は最低限の勉強しか出来ず、難しい問題が出題されないか不安だった。
- ・人物試験も本番までに2回しか模擬面接が出来なかった。

Q 3

試験の対策方法を教えてください。

～ 教養試験 ～

試験対策

- ・ 数的処理を早めに勉強した方が良いと聞いて、先に少しずつ勉強を開始。予備校の教材や模試を活用した。
- ・ 数的処理は問題集を何周かして、苦手な単元は間違えた問題をノートにまとめて解法をほぼ丸暗記するようにした。資料解釈も苦手だったが、過去問で慣れるようにした。
- ・ 文章理解や日本史はアルバイトで塾講師をしていたので、生徒に教える中で自分の勉強にもなった。
- ・ 英文に慣れるため、ネットで英文記事を積極的に読むようにした。
- ・ 参考書を使って、数的処理は毎日10問ほど、文章理解は2問ほど解いた。
- ・ 過去問を解くときは、本番と同じ順番で解くようにした。
- ・ 文章理解や資料解釈の方で得点を取れるように、本番を想定してできる限り短時間で解く練習を行った。
- ・ 時事の予想問題を繰り返し解いた。

試験の感想

- ・ 直前の練習通りの順で時間を決めて解くことと、すべての正解を求めに行かないように戦略を立てて取り組んだので目標としていた得点を取ることができた。
- ・ 常に時間に追われながらギリギリまで考えたり見直したりしていて、時間が足りなかった。
- ・ 想定以上に資料解釈に時間をとられ、かなり焦った。
- ・ 時事問題は初見の知識が問われる問題が多く、自己採点するまで不安だった。市販のテキストを読むだけでなく日頃からニュースを見る習慣をつけておいた方が初見の問題に対応できると感じた。
- ・ 試験当日の朝にエナジードリンクを飲んだ結果、カフェインの効果で試験時間中にお手洗いにいきたくなくなってしまい時間を無駄にしまい後悔した。

Q 3

試験の対策方法を教えてください。

～ 専門試験 ～

試験対策

- ・併願先でも使う科目を中心に勉強した。（憲法・民法・行政法・ミクロ・マクロ・経済学）
- ・法学部に所属しており、ある程度の知識もあったため、問題集をいきなり解き始めた。分からない部分は、テキストや動画の解説を確認するようにした。
- ・経済系は文字を読んでも理解できなかつたので分かりやすいYouTubeの解説を視聴した。
- ・講座を受講して何度も問題集を解いた。問題集の答えを覚えるくらい解いた。
- ・各科目、1か月で参考書を1周するようした。
- ・覚えるべき事項を付箋に書いて、いつでも見れるように部屋中に貼り付けていた。
- ・電車などの移動時間で暗記科目を勉強したり、過去問に出てきたところを小さなノートにまとめたりしていた。
- ・学系科目は勉強を始めるのが遅かつたので、過去問から頻出範囲を絞り、該当範囲を中心に直前期までテキストを読み込んでいた。

試験の感想

- ・試験時間がとても長かつた。
- ・いつも通り問題を解くことだけに集中することで落ち着いて解くことができた。
- ・自信のあつた科目が難化し焦つたが、予備で用意していた別科目に切り替えた。万が一のために9科目以上学習した方がよい。
- ・ミクロ経済学以外、どの科目も自信がなく科目選択に悩んだ。
- ・学系科目が想像以上に難かつたので、予備で準備していた教育学を選んだ。
- ・見直しに力を入れて何度か選択肢を変えたが、その結果正解できている問題があり、見直しの重要さを感じた。
- ・当日の最後の科目になるので、疲れが出て集中力が切れそうになつた。

Q 3

試験の対策方法を教えてください。

～ 論文試験 ～

試験対策

- ・ 模試の結果が良くなかったので、映像講義を見ながら勉強した。
- ・ 模範回答を参考にして構成を意識しながら演習を行った。
- ・ 直前期にどんなテーマが出題されるか調べて、テーマごとに書く内容を考えた。
- ・ 予備校の添削サービスを利用して、時間内に書き終える練習をしていた。
- ・ 特別な対策は行っていなかった。
- ・ 自治体の取り組みや白書を読んで行政の具体的な取り組みについて学び、論理立てて文章を書く練習を繰り返し行った。
- ・ ずっと模範解答を読んでいた。20テーマごとに事例を調べて、書き出しから構成、結論などテンプレート化してノートにまとめた。
- ・ 予備校のグループワークに参加し、週に1回テーマを決め、それぞれが情報収集を行い、ディスカッションを行った。

試験の感想

- ・ 問題の意図を読み間違えなければ、しっかりと得点できる印象だった。
- ・ 昨年と問題の指示傾向が変わっており、問題文を正確に理解するのに時間がかかり焦った。
- ・ 時間に余裕がなく焦ったので、もっと多くのテーマについて論文を書く練習をしておくべきだったと後悔した。
- ・ 時間を意識するあまり、字が乱雑になり誤字脱字が多くその確認に時間を要した。
- ・ 問題の指示に従って丁寧に書くことが大切だと感じた。
- ・ 与えられた資料をすべて用いること、今の社会の流れに沿った提案をすること、時間配分を気を付けることの3つに注意した。
- ・ 予想外のテーマが出題されても落ち着いて、今まで得た知識を組み合わせながら書くことができた。

Q 3

試験の対策方法を教えてください。

～人物試験～

試験対策

- ・大学のキャリアセンターやハローワークを活用して練習した。
- ・学チカを自分の言葉で話せるように大学のキャリアセンターなどを活用して練習した。
- ・面接に対して苦手意識を感じていたので、面接練習は大学のキャリアセンターや予備校、県のハローワークにて計50回ほど練習を行った。
- ・自己分析は大学3年生の夏ぐらいから徐々に行うようにして直前期に負担がないようにした。
- ・予備校で入退室の練習や模擬面接を複数回行っていた。
- ・自分でまとめた想定問答集を印刷して確認できるようにした。志望動機ややりたい業務を自分の経験してきたことや感じたことと結びつけるようにした。
- ・官庁訪問で自信を得たこともあり、特段対策はしなかった。
- ・会話であることを意識し、想定質問を考えすぎないようにしていた。

試験の感想

- ・面接の順番が想像以上に早く、逆に緊張がほぐれてありのままの姿を出せた。
- ・台本を読むのではなく、自分の言葉で伝えることが大切だと感じた。
- ・民間の選考や他の公務員試験で面接慣れしておいたことが良かった。
- ・自分よりも緊張していそうな人を見つけて精神を落ち着かせていた。
- ・待ち時間が長いうえに、時間を潰せるものがなかったので本を持っていけばよかった。
- ・面接時間が10分～15分程度だったので短く感じ、かつ淡々と進んだのであまり手ごたえを感じなかった。
- ・思っていた以上に穏やかな雰囲気の中で行われたので、リラックスして笑顔で会話ができた。
- ・笑顔が得意な人も、面接当日の朝や面接の待合室だけでも表情筋を柔らかくしておくのをおすすめします！

Q 4

部活動やアルバイトと公務員試験の両立について苦労した点を教えてください。

苦労したこと

- ・「勉強に集中しなければ」とアルバイトを休んでいた時期があったが、かえって生活にメリハリがつかず、怠けてしまうことがあった。
- ・夜遅くまでアルバイトをしていたので、1日勉強できない日も多くあった。
- ・試験直前はアルバイトが全くできなかったため、収入がなくなってしまった。
- ・大学3年生の秋ごろまで部活動に所属していたため、それまでの期間は勉強時間が確保できなかった。
- ・公務員試験の勉強とゼミのグループ研究の両立が大変だった。
- ・時間管理やメンタル、モチベーションの維持が大変だった。

工夫したこと

- ・大学の勉強をする日と公務員試験の勉強をする日を分けて、メリハリを付けていた。
- ・アルバイトは辞めずに、時間を減らしてシフトに入ることで、気分転換を図るようにした。
- ・アルバイト後、家に帰る前に図書館へ寄って勉強するようにしていた。
- ・忙しい日は1日10分だけでも参考書などをみるようにしていた。
- ・試験直前は勉強に集中しなかったため、アルバイトで事前に貯金をして、試験半年前から休めるようにした。
- ・両立が苦手な勉強以外のことをしていると罪悪感を感じてしまうので、思い切って勉強以外のサークルやアルバイトは全て辞めた。
- ・ゼミ活動と試験勉強を同時に行うことは難しかったので、研究発表まではゼミ活動に集中し、終わってからは試験勉強に集中した。
- ・1日のノルマは勉強時間ではなく、取り組む内容を重視したことで両立できた。
- ・アルバイト先の店長に相談をし、出勤の回数・時間を減らしてもらった。
- ・部活動やアルバイトで疲れて勉強に集中できない日は、割り切って早く寝て次の日に頑張った。
- ・ゼミの教授に相談し、発表時期を調整してもらった。
- ・1時間勉強したら少しYouTubeを見る、ゲームをするなどして息抜きしていた。
- ・勉強に嫌気を感じるようになってきたら1週間ほど勉強から離れ、リフレッシュする時間を取り、筋トレを行ったり、友人と遊んだりしていた。

Q5

公務員試験を振り返っての反省点を教えてください。

【勉強スケジュール】 ←1番多い！

- ・筆記試験の勉強や面接対策など全てにおいて開始する時期が遅かったので、周囲との差を感じてしまった。
- ・専門科目の勉強計画をしっかりと立てなかったために、暗記科目の勉強が間に合わなかった。年明けくらいから問題演習を始めておけばよかったと思った。
- ・大学4年生になるまでに自己分析や情報収集を大体終わらせておくことが大切だと実感した。

【精神面】

- ・周りの模試結果や過去問の点数を聞くことが多く、自分を卑下してしまい、やる気やモチベーション低下につながってしまった。周りと比べすぎないことが大切だと感じた。
- ・国家総合職試験を受験した際、燃え尽きてしまい、しばらく勉強に手がつかなかった。

【プライベートとの両立】

- ・一人暮らしをしているので公務員試験の直前期は食事や睡眠が疎かになってしまい、体調を崩すことが多くなってしまった。生活リズムを整えて体調管理を行うべきだった。
- ・自分を追い込みすぎた。勉強をしない日も作り、息抜きをすべきだった。



内定者おすすめの息抜き方法をご紹介します！！

- ・友人と一緒に過ごす
- ・ゲームをする（ゲーム配信を見る）
- ・散歩
- ・音楽を聴く
- ・アニメ・映画を見る
- ・漫画を読む
- ・家族と電話をする
- ・運動をする
- ・カラオケに行く
- ・美味しいご飯を食べる
- ・友人と飲みに行く
- ・アルバイトをする
- ・寝る



1 概要説明

2 国家公務員採用試験対策

3 官庁訪問対策

対策開始時期と具体的な対策方法・・・P 20

官庁訪問日と心がけたこと・・・P 21

苦勞した点と感想・・・P 22

待機時間の過ごし方・持ち物・・・P 23

前日の過ごし方・印象に残っていること・P 24

官庁訪問を振り返っての反省点・・・P 25

国土交通省を選んだ決め手・・・P 26

採用イベント・併願先・・・P 27～28

4 その他お役立ち情報満載

官庁訪問対策

概要説明

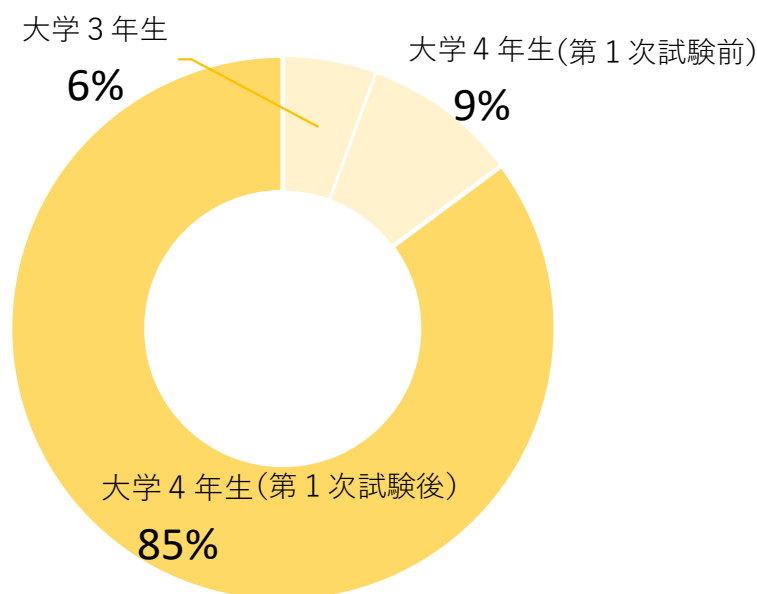
試験対策

官庁訪問

その他

Q 1

官庁訪問の対策開始時期と具体的な対策方法を教えてください。

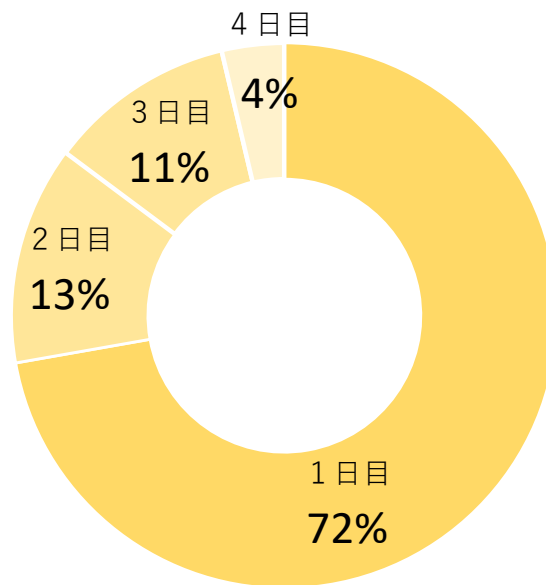


Answer

- ・テーマ別（局別）説明会に参加し、入手できる資料を参考にして自分がどの分野でどんな仕事がしたいのか説明できるようにしていた。
- ・官庁訪問の情報が不足していたため、対面の座談会に参加したり、公務員予備校のサイトで官庁訪問の体験記を読んだ。
- ・公務員試験経験のある先輩や友人から情報を集めていた。
- ・説明会やHPの情報を自分なりにまとめ直し、聞かれそうなことや関心のある政策への情報収集をした。
- ・大学3年生のときに行った採用イベントの振り返り、キャリアセンターや予備校での面接練習、白書を読むなどの対策をした。
- ・国土交通省の官庁訪問では、政策よりもガクチカを多く聞かれたり、人柄が重視されるという話を聞いていたので、自分のことを上手く話せるようにすることをメインに対策した。
- ・全受験先のなかで1番最初に受ける面接が国土交通省の官庁訪問だったので、笑顔でゆっくり話す練習や、緊張したときや回答に困ったときの対応など、初歩的なことから対策した。

Q 2

国土交通省への官庁訪問日と
官庁訪問で心がけたことを教えてください。



※訪問日によって評価が変わることはありません。

Answer

【前日まで】

- ・ スーツはアルバイトで使っていてボロボロだったので、面接前に買い換えた。
- ・ ホテルに宿泊していたので、前日に霞ヶ関駅までの行き方や出口を調べ、当日迷わないようにした。
- ・ 早寝早起きをして体力を温存していた。
- ・ 忘れ物をしないことと、遅刻しないことを第一に考えていた。

【面接】

- ・ 楽しく、正直に会話をするということを心掛けていた。暗記した文章ではなく自分の言葉で話すことが重要だと考えていたので、想定問答などは作らず、その場でありのままの自分を評価してもらうことを心掛けた。
- ・ 準備してきたことを発揮するだけなので、とにかく自分らしく居ようと思っていた。
- ・ 質問と回答というイメージではなく、職員の方とのコミュニケーションの場と考えて、自分の思いや、経験してきたことをしっかりと言葉で伝えることを意識していた。

Next question>>

Q 3

官庁訪問で何か苦勞した点がありましたか。

Answer

- ・待ち時間が長く、集中力を保つのが難しかった。
- ・訪問日程をどのように組むのかを考えるのに苦勞した。
- ・2日間かかる場合もあるという事前情報のおかげでスケジュールを組めた。
- ・遠方からの移動が大変だった。
- ・地方に住んでいたため、ホテル探しや新幹線の予約にも時間を要した。
- ・官庁訪問の前日は移動などでバタバタだった。
- ・志望動機を簡潔に伝えることが難しかった。
- ・前職が繁忙期だったこともあり、勤務スケジュールとの調整が難しかった。（既卒者）

Q 4

官庁訪問の率直な感想を聞かせてください。

Answer

- ・面接官の方がどの方もととてもやさしく安心した。やりがいなども聞くことができ、有意義な時間だった。
- ・職員の方が気さくで、周りの受験生との話も楽しくて良かった。
- ・同期になるかもしれない受験生と交流するタイミングでもあったので、雰囲気が合いそうか確認することができて良かった。
- ・固い面接を想像していたが、思ったよりもカジュアルに話してくれたので、自分の思いを伝えやすかった。
- ・型の決まったどこでも聞かれそうな質問ではなく、訪問者のことをより知ろうとしてくださっている質問が多かったように感じた。
- ・待ち時間が想像以上に長く、連日で国土交通省に行ったため、体力的にも少し辛かった。
- ・自分が言いたいこと、話したいことを言えたという満足感があり、これでダメなら仕方がない、と面接終了後は早く帰ることばかり考えていた。

Q 5

官庁訪問の待機時間はどのように過ごしていましたか。

Answer

- ・本を読むことや周りの人と話すこと、面接で話したいことを確認したりしていた。
- ・待機時間はほとんど周囲の方とお話をしていた。
- ・印刷して持っていった業務説明会の資料や、提出した個人カードの内容を確認しつつどのような質問が来るかを考えていた。
- ・自己分析をしていた。紙とペンで書き起こすと少し気持ちが落ち着いた。
- ・同じ待機室にいた受験生と軽く話すと少しリラックスできて、「自分だけ緊張してるわけじゃないんだ」と安心できた。
- ・用意していた想定質問とその回答を再確認していた。
- ・じっと瞑想をしていた。
- ・時々椅子から立ち、体を伸ばしていた。

Q 6

持ち物として用意しておいた方が良いものはありますか。

Answer

- ・待機室には多くの受験生がいて暑く感じるかもしれないので、ハンディファンなどがあると快適だと思う。
- ・待ち時間が長くなるので、昼食とモバイルバッテリーは必須だった。
- ・建物内にコンビニもあるが、職員の方も利用している場所なので、飲み物やお菓子を持っていくと良い。
- ・緊張で食べ物がのどを通らないこともあると思うので、ゼリー状のバランス栄養食を持っていくと良い。
- ・想定問答などを書いた手帳サイズのノートなどがあると、考えをまとめられたり見返したりすることができるので良い。
- ・バインダーを持っておくと、机がなくても紙を安定させて書いたり読んだりできるので便利だと思う。

Q 7

官庁訪問前日の過ごし方を教えてください。

Answer

- ・別の省庁の訪問に行っていた。帰ってきた後は疲れもあり早めに就寝した。
- ・夕方までは官庁訪問対策を行っていた。夜は緊張を少しでもほぐすため、友人とゲームをしていた。
- ・ルーティンである表情筋のトレーニングをして緊張しても自然な笑顔が出せるようにした。
- ・友人とオンラインで面接練習をした。
- ・何か特別なことをするのではなく、普段と同じ生活をした。
- ・遠方からの訪問だったので、前日に東京のホテルに到着した。普段と同じように昼寝をしたり、美味しいご飯を食べたりした。
- ・持ち物の最終確認をし、次の日に備えてできるだけ早く就寝した。
- ・いつもどおり出勤し、仕事をしてから夜の新幹線で東京に向かった。（既卒者）

Q 8

官庁訪問の面談・面接で印象に残っていることはありますか。

Answer

- ・趣味について聞かれたのが印象的だった。
- ・東京に住むことに対して抵抗はないかと聞かれたこと。
- ・一般的に馴染みのないテーマについて研究しているため、それに関する質問を何度もされた。
- ・逆質問をした際に国家公務員・民間企業の違いと国土交通省で働くことの魅力について熱く語っていただいたのが印象的だった。
- ・お酒を飲むとどうなりますか？や、友人と呼べる人は何人いますか？と聞かれたこと。ありのままの人柄を見られているのだと感じた。
- ・民間企業に勤めていた時の国土交通省の印象を聞かれたのが印象的だった。（既卒者）
- ・試験方式で教養区分を選んだ理由について聞かれたこと。

※受験区分によって評価が変わることはありません。

Q 9

官庁訪問を振り返っての反省点を教えてください。

Answer

【官庁訪問対策】

- ・ 様々な省庁を見て回るべきだと思う。名前だけで興味がないと判断せず、時間が空いたからとりあえず話を聞いてみる、といった気持ちでも業務説明会などに参加すれば、思いがけない出会いや発見があるかもしれません。
- ・ 官庁訪問直前にコロナに罹ってしまい座談会に参加できなかったのも、しっかり体調管理をして無理せず身体を休めるべきだった。
- ・ 面接練習をもっとしておくべきだった。所作やマナーが正しいかが不安だった。

【前 日】

- ・ 前日に国土交通省までの行き方を確認しておくべきだった。私は丸の内線を利用した場合の経路しか確かめていなかったにもかかわらず、当日は千代田線を利用したことでホームから国土交通省側の出口までが遠いことに気づき、集合時間ギリギリになってしまい焦った。

【当 日】

- ・ 隣に座っていた受験生に早い段階で声をかければよかった。自分自身が緊張していた事に加えて、話しかけて迷惑ではないかと不安だったが、実際に話をするとお互いの情報共有もでき、緊張もほぐれた。
- ・ 伝えたいことが多く、面接でだらだらと話してしまった。もっと簡潔にハキハキ話すべきだった。

【そのほか】

- ・ 反省点はありません！緊張しすぎないように周りを見渡したりすると良いと思う。

Q10

数ある内定の中から、最終的に
国土交通省への入省を選んだ決め手を教えてください！

Answer

【社会資本整備系】

- ・自分の仕事の成果が目に見えるのがやりがいを感じると思ったから。
- ・国土交通省で働くことで、国という大きなスケールで仕事ができると感じたから。
- ・国全体の視点をもって考えることが出来ることや、法案業務などスケールの大きい仕事に携わりたいと感じたから。
- ・日本全土の暮らしの基盤を支えるような仕事に関わることができると考えたから。
- ・まちづくりやインフラ整備に関連して業務ができるため。
- ・国家公務員として各地方をまとめる立場で携わりたいと考えたため。
- ・まちづくりや防災などの分野のスペシャリストとして働きたいと思ったから。
- ・防災意識の向上に貢献したいという思いが強かったから。
- ・官庁訪問で職員の方の雰囲気が良かったから。
- ・官庁訪問で同期となる受験生とたくさん話すことができ、雰囲気が良いと感じたから。

【モビリティ・観光立国系】

- ・仕事内容に関する興味関心が一番強かったから。
- ・鉄道や物流に関心があったことに加え、その分野について全国的な業務に携わることができる点に魅力を感じたから。
- ・観光分野に興味があるなかで、国内外の観光客の動きや、交通・インフラと観光をつなげる仕組みまで考えられるといったその業務範囲の広さにワクワクしたから。
- ・自分が大学で学んだことを活かせると感じたから。
- ・採用イベントや官庁訪問を通して、職員の方の人柄の良さにも魅力を感じたから。
- ・面接の際につたない受け答えだとしても、仕事を頑張ってくれるかどうかなどの面を考えて評価してもらえて、ここで頑張りたいと思えたから。
- ・内定者同士で関わる機会が多かった点や、職場の雰囲気が良さそうだった点も印象的だったから。
- ・以前は物流関係の会社に勤めていたが、物流業界にかかわり続けたいという思いと、前職と一緒に仕事をしてきた方々、転職を応援してくれた方々を支えたいという思いが強かったから。（既卒者）

Q12

官庁訪問や説明会などのイベントを通しての
国土交通省職員の印象はいかがでしたか？

- ・どの説明会でも就活生の質問に対して真摯に回答していてとても印象が良かった。
- ・どのイベントも業務内容を知るうえで非常に有意義だった。特に少人数座談会では、職員の方の本音に近い部分がたくさん聞けて印象的だった。
- ・ホームページを見るだけでは分からない国土交通省の雰囲気を感じることができた。国家公務員をという堅いイメージがあったが、説明会で温かく和やかな雰囲気を感じて参加して良かったと思った。
- ・明るく穏やかな印象の職員の方が多かった。実際に座談会や官庁訪問で対面した時も、こちらを気遣ってくださる方が多く、話もしやすかった。他省庁の説明会にもいくつか参加しましたが、最も自分に合った雰囲気だった。
- ・職員の皆さんが、真剣に働いていることが分かって非常に良かった。どんな質問にも丁寧に答えて頂いたので、こういう人達と働きたいと思った。

Q13

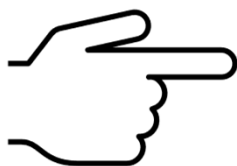
採用イベントに参加する際に意識していたことを教えてください。

- ・職員の方が、国土交通省の志望動機を話されていた際は、重点的にメモを取っていた。
- ・パンフレットやHPだけでは分からないような生の声を聴くことを意識した。
- ・面接で話せそうな内容やキーワードを探していた。
- ・職員の方と直接お話しできる数少ない機会なので、なるべく多くコミュニケーションを取ることを意識していた。
- ・説明を聞きながら、自分がどの分野に関心があるかを考えていた。
- ・対面のイベントでは、オンラインのイベントの時よりも多くの職員の方がいるので、職員同士が話している様子や雰囲気などを見ていた。
- ・必ず1回は質問をすることを意識した。大勢が参加するオンライン説明会でも、個人面談のつもりで質問を考えながら聞いていた。しっかり考えながら聞くと理解が深まることに加え、少しでも発言して職員の方に顔を覚えてもらいたいという思いもあった。

Q14

国土交通省の業務内容等についての情報収集の方法を教えてください。

お役立ち情報てんこ盛り。
今すぐCheck！！



◆採用HP



◆X(旧Twitter)



◆Instagram



基本情報はHP
+ αな情報は
Instagramから！

- ・業務説明会
- ・テーマ別説明会
局ごとの業務について深く知ることができた！
- ・座談会
職員の雰囲気を知ることができた！

X(旧Twitter) を
フォローすることで
採用情報、説明会情報
など様々な情報を
ゲットできた！

若手職員の方の
仕事内容や、やり
がいが、そして
志望動機など
Instagramで知る
事が出来た！

Q15

官民間問わず、併願先を教えてください。

| | | | |
|-------|---------|--------|------------------------|
| 総合職 | 他省庁 | 裁判所事務官 | 国家専門職 (国税専門官、財務専門官) |
| 都道府県庁 | 市役所・特別区 | 国立大学法人 | 民間 |

Next topic >>

1 概要説明

2 国家公務員採用試験対策

3 官庁訪問対策

4 その他お役立ち情報満載

■ 内定者インタビュー・・・・・・・・・・ P 30～44

■ 採用担当に聞いておきたかったこと・・ P 45～47

■ キャリアパスと採用実績・・・・・・・・・・ P 48

■ アクセス・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 49

■ 採用担当からのメッセージ・・・・・・・・ P 50



内定者インタビュー

内定者を代表して、
14名の方に
インタビューを行いました！

名前<イニシャル> (性別・新卒 / 既卒/志望系統)

- ① 学部・学科
- ② 部活／サークル
- ③ 趣味／特技
- ④ アピールポイント
- ⑤ 今後の予定

写真

～国土交通省の志望動機～

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

国土交通省

Profile No.1



M・Iさん(女性・新卒・社会資本整備系)

①学部・学科

経営学部・経営学科

②部活・サークル

トライアスロン部 マネージャー

③趣味／特技

読書、美術館に行くこと

④アピールポイント

お母さんのような包容力

⑤今後の予定

海外旅行



～国土交通省の志望動機を教えてください～

包括的で幅広い視点から政策を推進し、人々の安全で快適な暮らしを支えるインフラ整備に取り組める点に魅力を感じたからです。大学のゼミでは、コンパクトシティ政策についてグループで研究し、交通や防災などの地域特性に応じた都市政策を行う重要性を学びました。広域的な調整や制度設計など、地方自治体では担いきれない課題に国土交通省の立場から包括的に取り組み、持続可能で安全な社会の実現に貢献したいです。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

公務員試験は長期戦で大変だと思いますが、最後まで諦めずに試験勉強や面接対策に取り組めば、必ず良い結果はついてきます。説明会などで職場や職員の方の雰囲気をつかみ、公務員として自分が働く姿を想像してみるとモチベーション維持にもつながります。体調管理には気を付けて、程よく息抜きしながら、悔いの残らないよう自分の夢に向かって突き進んでください！

Profile No.2



T・Sさん(男性・新卒・社会資本整備系)

①学部・学科

法政経学部・法政経学科

②部活・サークル

準硬式野球部

③趣味／特技

スポーツ観戦やお笑い鑑賞

④アピールポイント

リーダーシップ、視野の広さ

⑤今後の予定

海外旅行、筋トレ



～国土交通省の志望動機を教えてください～

これまでの経験から身近な環境や仕組みを整えることで人々を支えることにやりがいを感じました。そのため、まちづくりやインフラ整備を通して少子高齢化や過疎化が進む日本において、持続可能な社会を実現したいと思い、国土交通省を志望しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

公務員試験に限らず就職活動は、自分自身を見つめ直す良い機会だと思います。なぜ自分が国土交通省を志望するのかを無限に話せるくらい明確にすることで、試験勉強のモチベーションにもなり、自分の選んだ道に後悔することがないと思います。

国土交通省では様々な受験者向けのイベントが行われているので、積極的に参加して少しでも理解を深めることをオススメします！頑張ってください！

Profile No.3



Y・Oさん(女性・新卒・社会資本整備系)

①学部・学科

観光まちづくり学部・観光まちづくり学科

③趣味／特技

音楽鑑賞・バスケットボール

④アピールポイント

目標に向かって粘り強く努力ができる

⑤今後の予定

海外旅行



～国土交通省の志望動機を教えてください～

自分が興味のある交通や観光といった面から、就活の軸としていた誰もが自分らしく生活できるような支援をすることができ、国ならではのツールやフィールドを持ってやりがいを持って働けるのが国土交通省で、魅力的だったからです。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

公務員試験は長期戦なので、勉強が嫌になる時もあるかと思いますが、適度に休息をとりながら、悔いの残らないように最後まで自分を信じて頑張ってください！

モチベーションが下がった時は、説明会などのイベントに参加してみるのもおすすめです。将来の目標を再確認でき、気持ちを前向きに切り替える良い機会になるとと思います。

Profile No.4



M・Mさん(男性・新卒・社会資本整備系)

①学部・学科

法学部・法律学科

②部活・サークル

野球部・学内ボランティア団体

③趣味／特技

野球観戦、旅行／持久走

④アピールポイント

何事にも全力で取り組むところ

⑤今後の予定

旅行、様々なアルバイトを経験する



～国土交通省の志望動機を教えてください～

国全体の防災に貢献することを目指しており、国土交通省の説明会に参加していく中で、災害復旧や事前対策を統括する業務の重要性を深く理解しました。その結果、国土交通省に入省したいと強く感じました。この使命感に満ちた業務に携わり、国の防災力を向上させ、多くの人命を守るために全力を尽くしたいと考えています。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

国土交通省の災害分野は、人々の命と暮らしを守る大切な役割を担っています。受験生の皆さんも、その想いを胸に全力で頑張ってください！一緒に働ける日を楽しみにしています！

Profile No.5



N・Tさん(女性・新卒・社会資本整備系)

①学部・学科

国際文化交流学部・国際コミュニケーション学科

②部活・サークル

着物文化部・国際協力学生団体

③趣味／特技

旅行／ラテアート

④アピールポイント

行動力があること

⑤今後の予定

南米周遊



～国土交通省の志望動機を教えてください～

災害対策に携わり、人々の命と暮らしを守りたく国土交通省を志望しました。
災害に強いインフラを作ることで、災害時においても人々が不自由なく生活できる環境を整えたいです。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

同学年の友人より卒業を伸ばし、1つ下の学年と一緒に就職活動を行いました。もし、私と同じような状況の方がいたとしたら、1人だけ遅れてしまっていると不安に思うことがあると思います。しかし、遅れているのではなく、タイミングが違っただけであり、自分と向き合う時間をもらえた、と前向きに捉えて自分のペースで進んでほしいと思います。最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています！

Profile No.6



R・Aさん(男性・新卒・社会資本整備系)

①学部・学科

理学部・物理学科

②部活・サークル

筋トレ、ウィンタースポーツ、ライブ観戦

③趣味／特技

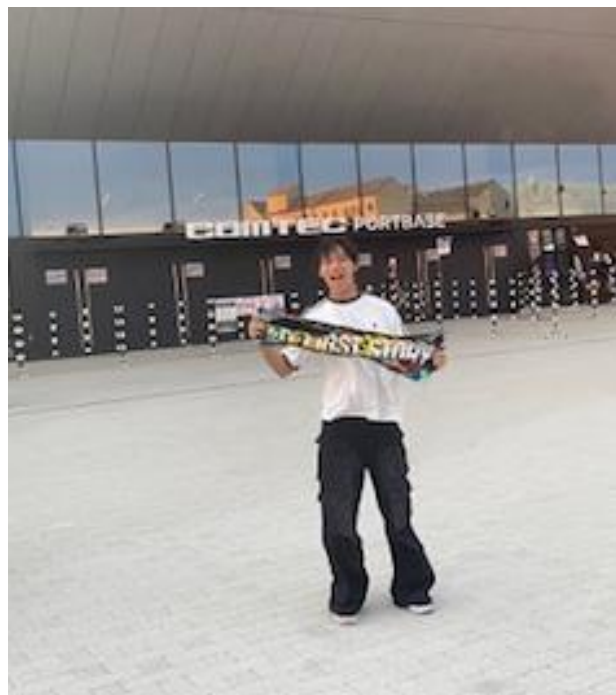
プロ野球観戦

④アピールポイント

重いものを運ぶときは私を頼ってください！

⑤今後の予定

旅行



～国土交通省の志望動機を教えてください～

インフラ事業に根底から携わりたいからです。私は、中部地方出身で近年話題となっている南海トラフについて深刻な問題だと考えていました。そんな災害から1人でも多くの人々の不安を取り除けるような事前の対策、災害時の現場復旧に貢献したいことから国土交通省を志望しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

勉強は余裕を持って始めると良いです。範囲がとても広いので全てを網羅しようとするとそれなりの時間がかかってしまいます。また、継続できる勉強方法を見つけてください。私は1人だと集中力が続かないため友達と勉強をするようにしていました。官庁訪問の期間まで不安が続くかと思いますが、みんな同じ環境であるためあまり気にせず後悔のないように頑張ってください！

Profile No.7



M・Mさん(女性・新卒・社会資本整備系)

①学部・学科

社会共創学部・地域資源マネジメント学科

②部活・サークル

防災NPO団体

③趣味／特技

旅行、ドライブ／フェンシング

④アピールポイント

明るく振る舞いと初対面と感じさせない場の盛り上げ力

⑤今後の予定

47都道府県制覇！



～国土交通省の志望動機を教えてください～

災害に強いまちをつくり、誰もが安心して暮らせる日本社会を実現したいから。大学で学んできた地方におけるまちづくりや、防災NPO団体の幹部として防災活動に継続的に取り組んだ経験から、現場の声を丁寧に拾い上げ、国民のために動く行政の重要性を実感し、その一員になりたいと思ったから。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

官庁訪問のポイントは、「自分らしさ」と「広い視野」です。

私は直前に官庁訪問を決めたため、あまり対策できませんでした。その分、自分らしく振る舞うことができました。準備も大切ですが、やりすぎると個性が埋もれてしまうこともあるので注意です。また、私は官庁訪問で職員の方とお話ししたことで、自分には無理だと思っていた国土交通省本省が第1志望になりました。みなさんも最後まで幅広く官庁を見て、自分に合った道を選んでください！

Profile No.8



S・Kさん(女性・既卒・モビリティ・観光立国系)

①学部・学科

地域政策学部・観光政策学科

②部活・サークル

観光研究会

③趣味／特技

水泳、読書、旅行

④アピールポイント

困難な状況になってもすぐに諦めないところ

⑤今後の予定

海外旅行、家族とお出かけ、自炊、お金の勉強



～国土交通省の志望動機を教えてください～

観光振興による地方創生に戦略的に取り組んでいる点に魅力を感じました。大学では観光まちづくりを学び、観光には地域の魅力を再発見させ、経済を活性化させる力がある一方、人口減少や都市と地方の格差といった課題も実感しました。そのため、地方誘客を通じて地域振興に取り組む姿勢に強く共感し、政策の企画・実施を通じた地域活性化や日本全体の持続可能な成長に貢献したいと考え、志望しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

私は職歴なしの既卒だったため不安がありましたが、どの職員の方もフラットに見てくれた印象がありました。面接も穏やかで話しやすかったので、安心して受けることができると思います。筆記試験も人物試験もしっかりと対策をしておく、リラックスして本番に臨めるかなと思います。試験勉強や官庁訪問など大変な時期はありますが、内定をいただけた際はとても嬉しく、頑張ってたよかったですと思えました。これから受験する方が自分の力を出し切り、良い結果を掴めるよう応援しています。

Profile No.9



H・Sさん(女性・既卒・モビリティ・観光立国系)

①学部・学科

教育学部・学校教育課程

②部活・サークル

バレーボール部のマネージャー兼主務

③趣味／特技

バレーボール（観戦も）、バドミントン
／字をきれいに書くこと

④アピールポイント

何でもポジティブに捉えられるところ

⑤今後の予定

かわいい家具を探す、友達とごはんに行く



～国土交通省の志望動機を教えてください～

叔父が税務職員として働いていることをきっかけに、国家公務員という職業を目指し始めました。観光や公共交通機関についてなど自分が興味のある分野で国の役に立てることに魅力を感じ、国土交通省を志望しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

私は大学4年生で受験した際に最終合格できなかったため、新卒で就職せずにもう一度公務員試験を受験しました。周りが新卒として働き始めて不安に思うこともありましたが、合格し働きたかった国土交通省で就職することができたので、再チャレンジして良かったと思います。職歴の無い既卒でも採用で不利になることはなかったので、自信をもって頑張ってください。応援しています！

Profile No.10



T・Kさん(男性・既卒・モビリティ・観光立国系)

①学部・学科

法学部・法律学科

②部活・サークル

大学の漁業組合

③趣味／特技

筋トレ、温泉旅行

④アピールポイント

常に笑顔であるところ

⑤今後の予定

旅行



～国土交通省の志望動機を教えてください～

私は、広域的な課題に対応し、公平・公正な観点から社会に貢献したいと思い国家公務員を志望しました。

また、交通インフラの整備、拡充を通して、誰もが快適に移動することが出来る社会の実現に貢献したいと思い、国土交通省を志望しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

既卒の方の場合、新卒の学生の方たちよりも時間の融通が利かない場合も多いと思います。しかし、そのような状況の中、公務員試験の受験を決意した自分自身に自信を持ち、最後まで頑張ってもらいたい。また、既卒ならではの経験やアピールポイントもあると思います。そういったものも自分の武器として、面接試験や官庁訪問を頑張ってください！

Profile No.11



M・Kさん(女性・新卒・モビリティ・観光立国系)

①学部・学科

文化構想学部・文化構想学科

②部活・サークル

日本インド学生会議

③趣味／特技

幼少期に8年間継続していた日記を再開

④アピールポイント

誰よりも貪欲に学び続ける姿勢

⑤今後の予定

旅行



～国土交通省の志望動機を教えてください～

私は人生の軸と国土交通省で歩めるキャリアが非常に合致していると感じ、国土交通省を志望しました。①人々の暮らしを根底からより豊かにしたい。②自分と関わる全ての人の可能性や挑戦を支えたい。という2つの軸をもとに、どんな場面でも必要不可欠な交通という基盤や、新たな出会いや学びを生む観光を支えることは、暮らしの充実と挑戦の後押しにつながると考えました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

私はアメリカで留学生活を送りながら公務員試験の勉強を進めていました。もし私と同じような状況の方がいれば、今不安でいっぱいだと思います。しかし、計画的に勉強することで少しずつ自信につながると思います。心から応援しています！

Profile No.12



K・Kさん(男性・新卒・モビリティ・観光立国系)

①学部・学科

経済学部・経済学科

②部活・サークル

バレーボール

③趣味／特技

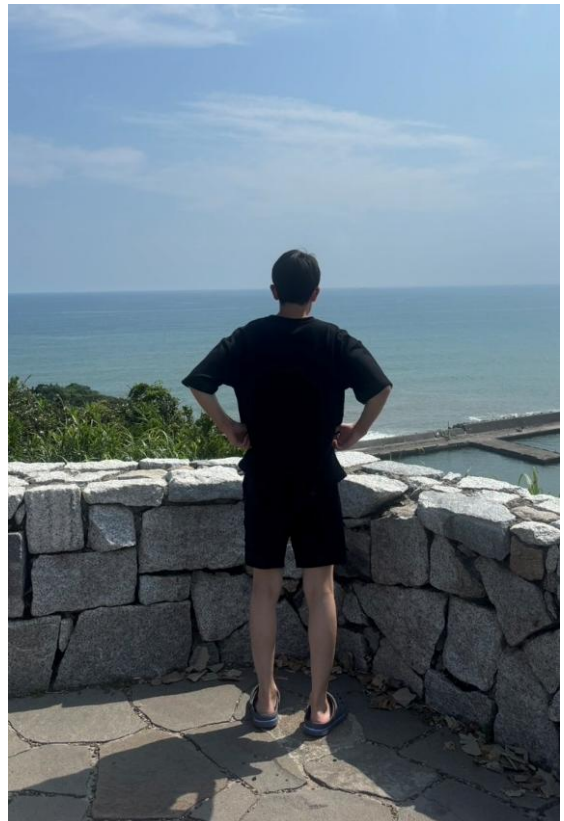
格闘技観戦／バレーボール

④アピールポイント

周りをよく見ることができること

⑤今後の予定

海外旅行



～国土交通省の志望動機を教えてください～

私は規模の大きな場所で人々の豊かな生活に貢献したいと考え、国家公務員を志望しました。そんな中で交通インフラに以前から関心があり、国土交通省の説明会や座談会に参加し、幅広い業務から国全体の基盤作りに貢献できる点に大きな魅力を感じ、国土交通省を志望しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

1次試験から最終合格発表まで期間が長く、周りの友人は就職活動を終えていて不安を感じるようになってしまおうと思いますが、今までの毎日を振り返って自分を褒めながら最後まで走り抜けて欲しいです。志望先の説明会や座談会に行ってみると、「頑張ろう！絶対に受かるんだ！」という気持ちになることができたのでおすすめです。みなさんが満足のいく結果になるように頑張ってください！応援しています！

Profile No.13



S・Sさん(男性・新卒・モビリティ・観光立国系)

①学部・学科

法学部・法律学科

②部活・サークル

フットサル、ボランティア

③趣味／特技

ドライブ／

サッカー（リフティングは疲れるまでずっと続けられます）

④アピールポイント

忍耐力、継続力

⑤今後の予定

昔の友人など、会いたい人にたくさん会う



～国土交通省の志望動機を教えてください～

旅行が趣味で、日本の観光業界をより豊かにしたいと考え、国土交通省に興味を持ちました。その後、説明会に参加する中で観光以外の政策も魅力的に感じたため、国土交通省を目指そうと決意しました。国土交通省に入りたいと思い公務員を志望したので、他の進路は考えていませんでした。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

公務員試験は長丁場ですが、合格したときにそれに見合うだけの達成感を味わうことができます。頑張ってください！

Profile No.14



K・Nさん(男性・新卒・モビリティ・観光立国系)

①学部・学科

総合理工学部・知能情報デザイン学科

②部活・サークル

ソフトテニス部 選手兼主務

③趣味／特技

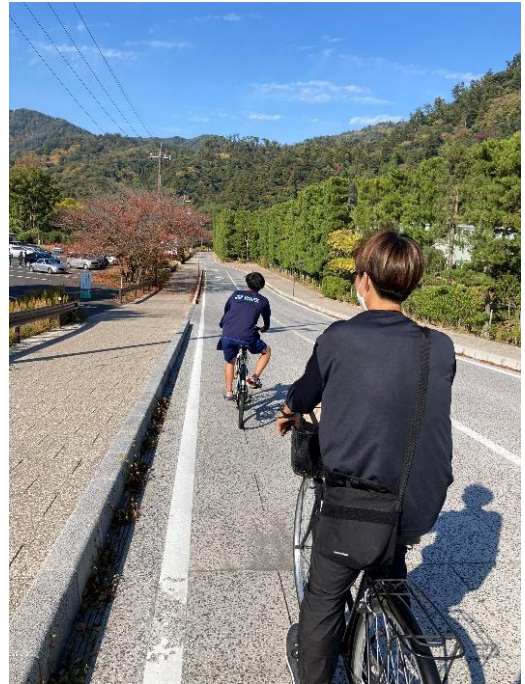
ソフトテニス

④アピールポイント

落ち着いて行動できるところ

⑤今後の予定

旅行、テニス



～国土交通省の志望動機を教えてください～

交通インフラや観光を通じて誇りと愛着に満ちた社会を実現したいと考え志望しました。幼い頃から新幹線まつりや空港見学に参加するなど乗り物が好きで、移動の楽しさを感じてきました。また、観光に関わる研究を行い、さらなる観光データの活用が必要だと感じていたため制度面から国という大きな規模で社会を支えたいと思うようになりました。これらの経験や力を活かせるのは国土交通省しかないと考え、志望しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

私自身も準備の中で不安や焦りを感じることもありましたが、同じ目標を持つ仲間が存在や「なぜ国土交通省を志すのか」という原点に立ち返ることで乗り越えられました。皆さんもぜひ、自分の思いや経験に自信を持って臨んでください。応援しています！

採用担当に聞いておきたかったこと

内定者が「官庁訪問前に聞いておきたかった」という質問について、この場でお答えします！

Question 1 採用にあたっては、どのような人材を求めているのですか。

ローカルからグローバルまで、幅広いフィールドで活躍する人材として、幅広い分野への興味、広い視野、高いプロ意識を持って現場と向き合い、着実に日本を良くしていこうという志をもった方を求めています。

Question 2 業務説明会の参加・不参加は、採用の可否に影響がありますか。

人事院主催の説明会や、国土交通省独自に開催する説明会は、当省の業務内容を多くの方々に知って頂くための機会と捉えています。従って、説明会への参加・不参加が、採用にあたって不利益になるということはありません。ただ、こうした説明会は業務内容についての理解を深められるだけでなく、実際に働いている職員の生の声を聞ける良い機会でもありますので、是非積極的にご参加下さい。

Question 3 出身校や学部、公務員試験の順位や年齢（民間経験有り）は、採用の可否に影響がありますか。

公務員試験に最終合格すれば、その後の官庁訪問において、上記の条件により不利・有利の差が出ることはありません。国土交通省では、人物重視の面接を行っています。

Question 4 配属や異動はどのようにして決まるのですか。

国土交通省の業務は多様であるとともに、社会の動きに応じて日々変化しています。したがって、配属や異動については、それまでに得てきた知識・経験、本人の希望・適性等を総合的に踏まえて決定されます。

Question 5 本省以外の職場で働く機会がありますか。

地方整備局や地方運輸局などの地方支分部局において、より地元に着した場面で国土交通行政を担う機会があるほか、他省庁や地方公共団体に出向し、国土交通省の職員として培った知識・経験を活かして地方行政に携わるチャンスもあります。また、在外公館での勤務や本人の努力次第では海外の大学院に留学する機会もあります。

Question 6 女性にとって働きやすい職場ですか。

国土交通省では既に多くの女性職員が働いており、女性だから、男性だから、ということで仕事の内容に差はありません。また、産前・産後休暇、育児休業等の制度もあり、結婚・出産後も活躍している女性が増えてきています。

Question 7 内定後、採用までの間にイベント等がありますか。

令和7年度は、座談会や懇親会、施設見学を行いました。座談会では、採用担当職員以外にも様々な部局から内定者と年齢が近い若手職員が参加していました！内定者からは、職員と色々と話せたことで、より明確に入省後のイメージが出来たなどの声をいただいています。座談会の後は、採用担当と内定者で懇親会を開催し、この先同期となる仲間との絆を深める機会もありました！また、施設見学では防災センターへ行き、設備の説明などを受けていました！

Question 8 テレワークや早出遅出勤務は導入されていますか。

【テレワーク】

自宅に職場のパソコンを持ち帰り、自宅で勤務することができます。自分のスマートフォンに専用のアプリケーションを入れることで、同僚と電話・連絡をしたり、メールを確認することもできます。

【早出遅出勤務】

育児や介護などで必要がある場合、1日の勤務時間を変更することなく、始業・終業時刻を変更して勤務することができます。

<例> 通常：9時30分～18時15分 → 変更後：8時30分～17時15分（始業を1時間早める）

Question 9

国土交通省独自の採用イベントはどのくらい実施していますか？

例年、官庁訪問前の時期を中心に業務説明会、座談会などの採用イベントを実施しています。

☆令和7年度（2025年度）に実施した主な説明会

| 種類 | イベント名 | 実施方法 |
|-----|--------------------------------|----------|
| 説明会 | 4省庁コラボ説明会（財務省、農林水産省、総務省、国土交通省） | 対面 |
| | 業務概要説明会 ① | 対面・オンライン |
| | 〃 ② ※業務概要説明会①と同内容 | オンライン |
| | テーマ別（局別）説明会（鉄道局、物流・自動車局） | オンライン |
| | 〃（国土政策局、不動産・建設経済局、都市局、住宅局） | オンライン |
| | 〃（水管理・国土保全局、道路局、海事局、観光庁） | オンライン |
| 対談 | 採用担当とのトークセッション ① ～第1次試験対策編～ | オンライン |
| | 〃 ② ～官庁訪問対策編～ | オンライン |
| | 〃 ③ ～官庁訪問直前編～ | オンライン |
| | 採用担当との少人数座談会 | 対面 |
| | 既卒者向け採用相談会 | オンライン |

★ 参加した内定者の感想 ★

【説明会】

- ・複数の部局に興味があったが、局ごとの業務や雰囲気について聞くことができ、有意義だった。
- ・自分がやりたい仕事は何なのかを具体的に考える機会となった。

【座談会】

- ・職員の方々と直接話ができ、雰囲気の良さを感じた。
- ・官庁訪問前の不安だったことや気になったことを気軽に聞くことができ、安心した。
- ・国土交通省で働きたいという気持ちがより一層強くなった。

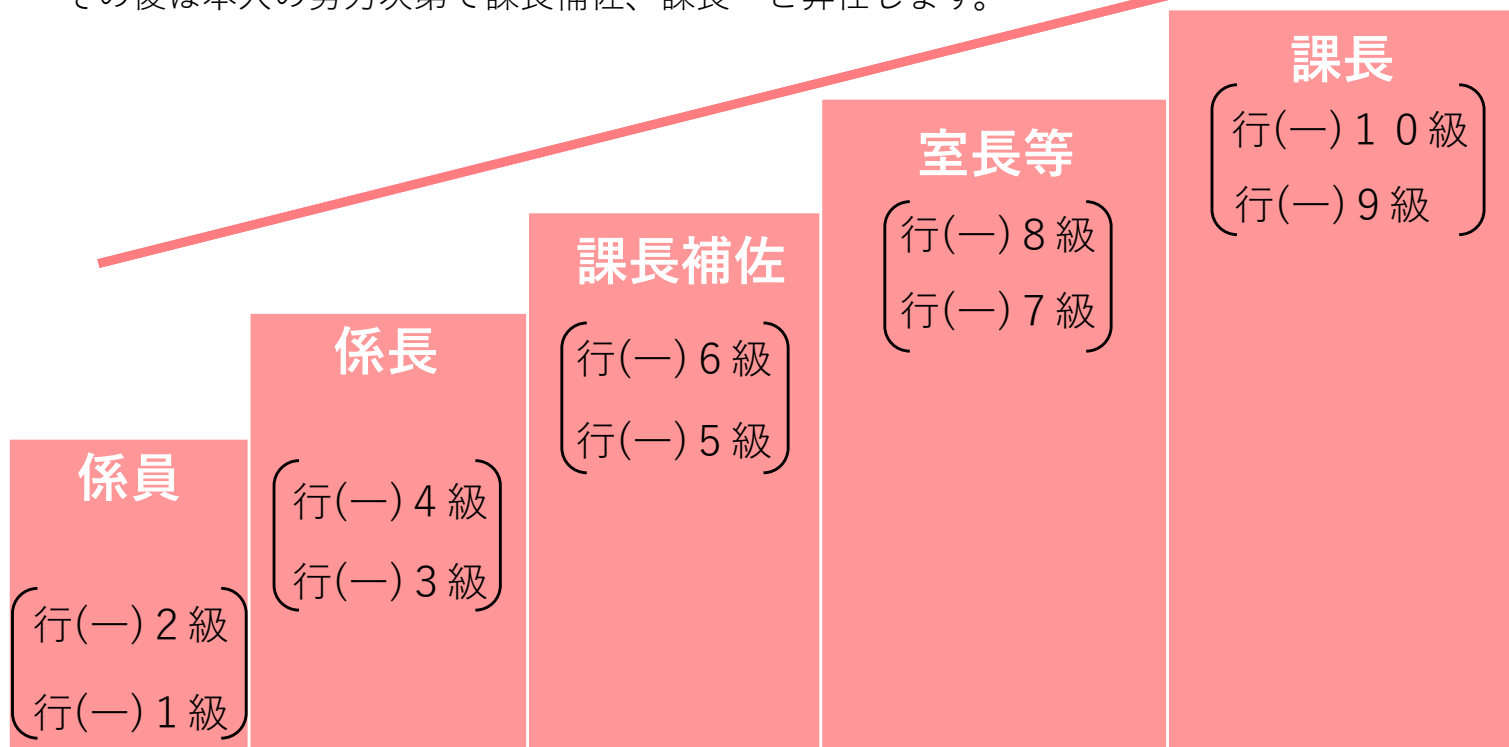


過去の採用イベント情報はここから！



キャリアパス

採用直後は、本省係員として各局等の課や室などに配属されます。
配属後は人事異動により、概ね2～3年のサイクルで担当業務が替わり、
様々な業務に携わりながら多くの経験を積んでいきます。
そして、一般的には30歳前後で係長へ昇任します。
その後は本人の努力次第で課長補佐、課長…と昇任します。



基本的には、本省（霞ヶ関）での勤務が中心となります。
本人の希望を考慮した上で、2年程度、地方機関や自治体等、
様々な職場で活躍するチャンスもあります。

採用実績

| 採用実績 | | R5 | R6 | R7 |
|-----------|-----|--------|--------|--------|
| 一般職（大卒程度） | 事務系 | 55(19) | 71(28) | 80(43) |

※実績は社会資本整備系とモビリティ・観光立国系の合計
※（ ）内の数は女性の数

◎新卒に限らず、既卒者の採用も積極的に行っております！

アクセス情報

【所在地】

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3中央合同庁舎3号館

東京都千代田区霞が関2-1-2中央合同庁舎2号館（分館）

代表番号 03-5253-8111

【最寄り駅】

東京メトロ丸ノ内線・日比谷線・千代田線 霞ヶ関駅 A2、A3a、A3b出口

東京メトロ有楽町線 桜田門駅 2番出口





採用担当からのメッセージ



本GUIDEBOOKをご覧くださいありがとうございます。

ご覧になっている皆さんの中には、公務員試験対策を順調に進められている方もいれば、学業との両立もありなかなか対策が進んでいない方もいらっしゃるかと思います。

我々も数年前は皆さんと同じく就活生でしたが、当時は「本当にこの勉強方法で合っているのかな?」、「官庁訪問って何を聞かれるんだろう?」と不安を抱えながら臨んだ記憶があります。

今回は、令和7年度の国土交通省内定者（一般職大卒程度）の方々にご協力いただき、公務員試験対策や官庁訪問対策をはじめ、一連の経験を通して感じたことや反省点など、リアルな声をお届けしています。

皆さんが人生において大きな選択をするにあたって、本GUIDEBOOKが少しでもお役に立てば嬉しく思います。

公務員試験は精神的にも身体的にも負荷がかかりますと思いますが、公務員になりたい!という強い気持ちを持って、この長期戦を乗り越えてください。国土交通省の職員として、皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

社会資本整備系 採用担当 田中
モビリティ・観光立国系 採用担当 佐々木



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism